

高校生向け探究プログラム

ディスカバ！in崇城大を開催

熊本市の崇城大学（小野長門学長）では、5月19日、同大学で、高校生のためのキャリア支援プログラム『ディスカバ！in崇城大学』を開催した。遠くは千葉県や沖縄県から合計37人の高校生が来場した。

「ディスカバ！」は、高等学校の中だけでは体験できない探究や未来との出会い、未来の可能性を新しい自分を発見する

熊本市の崇城大学（小野長門学長）では、5月19日、同大学で、高校生のためのキャリア支援プログラム『ディスカバ！in崇城大学』を開催した。遠くは千葉県や沖縄県から合計37人の高校生が来場した。

「ディスカバ！」は、高等学校の中だけでは体験できない探究や未来との出会い、未来の可能性を新しい自分を発見する



研究室で実験する高校生

マに設定。参加者たちは、担当した教員・大学

同大学では、様々な事象に知的好奇心を持って観察し、多角的・多面的、複合的な視点から問題発見・解決に生かす力をつけ、未来の「予測困難な社会」を生き抜くための人材育成に取り組んでいる。2022年より、高校生においても、興味を抱いた課題を大学進学後までシームレスに探究活動として継続することで、ハイレベルな理系人材育成につながることを趣旨とした高大連携事業をスタートし、具体的には、高校生の研究活動の支援と探究活動や課題研究を活用した入試を実施している。

今後、参加者は8月3

日に実施する「探究成果発表会」に向けて自分たちの探究活動をより深めていく予定。